

は　　じ　　め　　に

鳥取県立博物館は、昭和47年の開館以来郷土の博物館として、また県民の学習の場として多くの方に親しまれております。

昭和60年度には、特別展「神々の美術」「昆虫の世界」及び催物展「近世のやきもの」とぬりもの」「中島菜刀」を開催し、常設展示では近代美術展示室を新たに開設、又、歴史民俗常設展示室をより分かり易いように大幅に改善し各方面から多数の方に入館していただきました。

教育普及活動では、県下4か所での巡回展をはじめ講演会、講座、見学会等の事業を実施し、さらに、特別展示室、講堂及び会議室等が県民の文化活動に利用され、延94,043人の利用者を迎えました。

博物館資料の収集、調査研究、常設展示の改善等についても、関係各位の御援助と御協力を得て成果を上げることができましたことを深く感謝いたします。

本館が、県民の文化施設として新しい企画のもとに種々の改善を行いながら皆様に一層親しまれる博物館となるよう努力してまいりたいと思います。今後とも格段の御協力と御指導をお願い申し上げます。

昭和61年7月

館　長　松　本　兵　衛